



H18. 6. 23 1197
静岡県漁業協同組合連合会
☎054-254-6011 Fax054-253-9343
編集・発行 = 指導部 漁政課
URL: <http://www.jf-net.ne.jp/sogyoren/>

1. 6月20日、本会・県信漁連・県漁業信用基金協会が総会を開催

= 県漁連 =

本会の第57回通常総会は、西川会長の挨拶のあと、石川県知事、石川県議会副議長の来賓祝辞に続き、祝電披露が行われ、両連合会から漁協系統における永年勤続者に対する感謝状が3名の方々に贈呈されました。

次に内野遠州漁協長が議長となり、平成17年度事業報告、平成18年度事業計画等11議案が審議されいずれも原案どおり可決承認されました。

また、理事の辞任に伴う役員補欠選挙では、荒川邦夫氏(戸田漁協長)が無投票にて当選し、引き続き開催された理事会において理事に選任されました。

漁協永年勤続職員表彰(敬称略・退職前所属漁協)

長池 一(下田市)、齋藤壽郎(焼津)、田丸徹雄(戸田)

= 県信漁連 =

県信漁連の第57回通常総会は、星川会長の挨拶のあと、平成17年度系統信用事業優良漁協、功労者の表彰があり、村松県農業水産部長、佐藤農林中央金庫静岡支店長の来賓祝辞に続いて、石津地頭方漁協長が議長となり、平成17年度事業報告、平成18年度事業計画等9議案が審議され、いずれも原案どおり可決承認されました。

また、役員欠員に伴う補欠選挙の結果、理事には小島正信氏(網代港漁協長)、藤井多喜男氏(下田市漁協長)がそれぞれ無投票にて当選し、引き続き開催された理事会において理事に選任されました。

表彰(敬称略) <信用事業優良漁協> 全国漁業協同組合連合会会長表彰 = 由比港漁協 <系統信用事業功労者> 農林中央金庫静岡支店長感謝状 = 望月和世(県信漁連由比港支所長) 県信漁連会長感謝状 = 小松悦子(県信漁連伊豆伊東支所長)

= 県漁業信用基金協会 =

県漁業信用基金協会の第53回通常総会は、小林理事長の挨拶のあと、久米吉田町漁協長が議長となり、平成17年度事業報告、平成18年度事業計画等8議案が審議されいずれも原案どおり可決承認されました。

また、役員退任に伴う新理事3名の選任が行われた結果、村松泰規氏(県農業水産部長)、清田兼雄氏(南伊豆町漁協長)、佐藤勝男氏(静浦漁協長)が決定し、引き続き開催された理事会において理事長に花田 博氏(専務理事)が、また、専務理事に山口保美氏(常務理事)が選任されました。

2. 平成18年度天草共販第1回入札会開催

本会では、6月21日賀茂出張所において、天草事業の第1回入札会を開催しました。

第1回の入札会での数量は9,538kgで、昨年12,040kg(前年比20.8%減)を下回りまわりましたが、価格面では平均単価18,994円(10kg当たり)で、昨年に比べ1,915円高と大幅

自立漁協の構築に向け合併・事業統合を進めよう

に上昇しました。第1回の入札結果は次のとおりです。

入札数量：9,538kg(382本) 取扱金額：18,117万円 平均単価：18,994円(10kg当たり) 最高入札額：産地 = 稲取、銘柄 = あらめ(晒) 24,890円(10kg当たり)

3. 浜名湖でアサリの天敵を一斉駆除 アサリ資源管理へ取り組む

浜名湖では、近年アサリを食害とするツメタガイが増え問題となっています。そこで、6月17日には浜名漁協所属の採貝漁業者等約500人が一同に集い、ツメタガイの卵塊(通称「砂茶碗」)の一斉駆除を実施しました。当日は、前日までの大雨による濁りや濃霧など悪条件が重なりましたが、湖南部を中心に6万5千個、810⁺を駆除しました。

この卵塊は、1個当たり3万~5万個の卵を持っているため、この日は19億個以上の卵を取り除いたこととなります。

採貝漁業者のこの活動は、アサリの資源管理を行う取り組みとして、全国に先駆けたもので、他県の関係者からも多くの注目を集めています。

4. 伊豆地域ハマダイ種苗120万尾沖だし終了

県漁業振興基金では、資源増大推進普及事業・地域栽培推進事業の一環として、このほど伊豆地域ハマダイの種苗120万尾の沖出し作業を終了しました。

この種苗は、県温水利用センター沼津分場で4月中旬頃から生産を始めたもので、25~30mmに成長した種苗を、伊豆地域4箇所の沿岸域へ沖出しをしました。

沖出した種苗は、各地区の生簀で8月中旬頃まで中間育成され、浦々の海域へ放流されることとなります。今年度沖だした内訳は次のとおりです。

6/12：内浦 = 20万尾 6/13：戸田 = 25万尾 6/14：田子 = 25万尾 6/15、16：網代 = 50万尾

5. 新刊図書紹介

「ローカルルールの研究 - ダイビングスポット裁判検証から -」 佐竹五六 他著

本書は、1995年から2000年にかけて内浦漁協・大瀬崎ダイビング訴訟にかかる地裁、高裁、最高裁の一連の判決に対する、法律学者、弁護士、水産行政関係者、漁業団体職員等による勉強会をもとにそれぞれの専門部門からの論文を収録し、判決ほか資料を付しています。

共同漁業権水面に地元漁協が設定した「ダイビングスポット」の利用料 = 潜水利用料の法律的社会的経済的意味を考えることによって、現代が抱えている海や川や水辺という自然領域の所有と利用と管理の原初的な意義に迫るものとなっています。

価格：5,000円(税別) A5判並製 424頁

問合せ先：(有)まな出版企画 〒165-0025 東京都中野区沼袋1-5-4 TEL:03-3319-3127

HP：MANAしんぶん <http://www.manabook.jp>

6. 会議・日程(6月27日(火)~7月10日(月))

- 既報分省略 -

7月5日(水) 県漁連 = 第2回天草共販入札会 (賀茂出張所)

7月6日(木) 県養鰻協会 = 合併研究協議会 (県水産会館)

7月7日(金) 県漁連 = 県協同組合間提携推進協議会事務局会議・総会 (クーポール会館)

7月9日(日) " = 口坂本の森クラブ活動 (静岡市口坂本)

安全・安心な水産物供給と活力ある漁業づくりに努めよう

漁協系統事業の全利用運動を進め組織の強化を図ろう